

## 平成 27 年度「英語能力判定テスト」における 阪南中学校の結果の概要と今後の取組について

大阪市では、生徒の英語力の充実と向上を図るため、教育振興基本計画\*に基づき、英語イノベーション事業\*の一環として、「英語能力判定テスト」を実施いたしました。このテストの目的は、生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、学校における英語の指導の改善を図ることにあります。

学習指導要領における中学校英語の目標は、4 技能（「読む」「聞く」「話す」「書く」）を総合的に活用できるコミュニケーション能力の育成と示されております。本テストで測定できるのは英語力の一部ですが、本校では、結果をふまえ、生徒の総合的な英語力向上を目指してまいります。

- 1 目 的
- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
  - (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の改善、工夫に役立てる。

2 対 象 大阪市立全中学校 生徒 1～3 年生

3 実 施 日

- ・ 3 年生 平成 27 年 11 月 5 日（木）
- ・ 2 年生 平成 28 年 2 月 1 日（月）
- ・ 1 年生 平成 28 年 2 月 5 日（金）

### 4 内 容

学年	テストの種類	テストの難易度	テスト内容		満点 スコア
			筆記問題	リスニング問題	
3 年	テストD	英検 3～5 級レベル	50 題	30 題	460 点
2 年	テストE	英検 4～5 級レベル	40 題	25 題	400 点
1 年	テストF	英検 5 級レベル	25 題	25 題	340 点

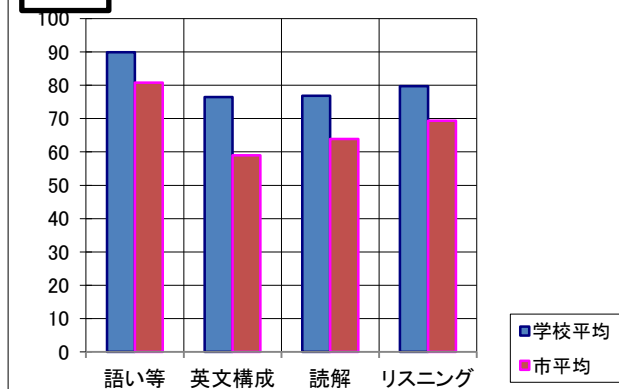
\*教育振興基本計画…本市の教育振興のための施策に関する基本的な計画

\*英語イノベーション事業…本市の英語教育強化を図るための事業

# 平成27年度「英語能力判定テスト」結果の概要と今後の取組 阪南中学校

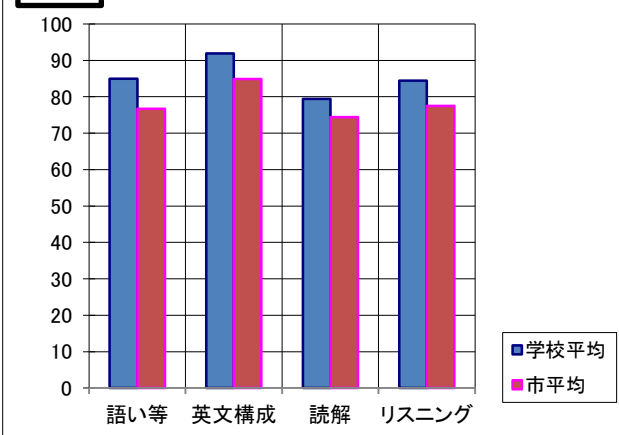
3年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	89.9	76.5	76.9	79.7
市平均	80.8	59.0	63.9	69.4

## 3年



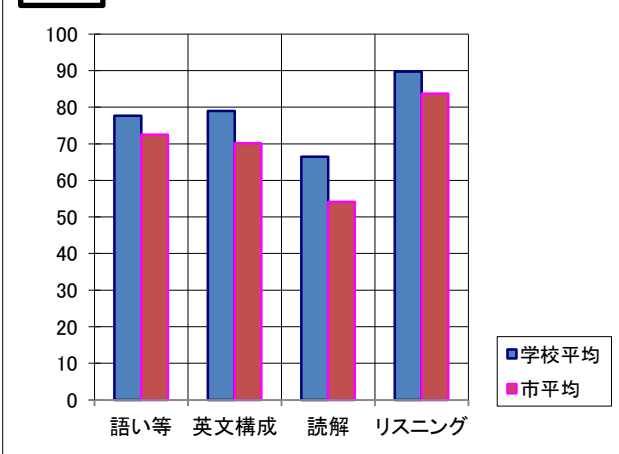
2年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	85	91.9	79.4	84.4
市平均	76.7	84.9	74.4	77.5

## 2年



1年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	77.7	79	66.5	89.7
市平均	72.5	70.1	54.1	83.7

## 1年



## 結果の概要と結果をふまえた今後の取組

※各学年において実施したテストはそれぞれ種類が異なるため、学年間の正答率を比較することはできません。

## 3年

英検3～5級レベル:スコア 0～460点

### 《結果の概要》

すべての項目を通して平均12.5ポイント上回っている。特に、「英文構成」については、市平均を大きく上回っている。

### 《結果をふまえた今後の取組》

概ね市平均よりポイントを上回っているが、「語い等」の項目で10ポイント以上市平均を上回るよう、レッスン毎の単語テストを重点課題において取り組んでいく。

## 2年

英検4～5級レベル:スコア 0～400点

### 《結果の概要》

「語彙等」「英文構成」「読解」「リスニング」の4分野ともに正答率は市平均を上回り、「英文構成」では9割を超えている。

### 《結果をふまえた今後の取組》

「読解」に関して正答率が79.4%と、他の分野に比べると低い傾向にある。そのため、長文読解の演習問題など実践的な練習に取り組んでいく。また、読解速度を上げるためにも、短い英文の速読についても取り組んでいく。

## 1年

英検5級レベル:スコア 0～340点

### 《結果の概要》

「語い等」「英文構成」「読解」「リスニング」の4分野とも正答率は市平均を上っており、特に、「リスニング」においては、ほぼ9割に達している。

### 《結果をふまえた今後の取組》

「読解」は10ポイント以上市平均を上回ってはいるが、他の分野に比べ、正答率が低くなっている。そのため、基礎的な単語・連語の定着をより徹底するとともに、長文の読解練習の時間を増やし、取り組んでいく。